

県中北部向け非主食用水稲新品種「つぶみのり」(岩手85号)

【1 「つぶみのり」(岩手85号)の特徴】

耐冷性が強く、県中北部で栽培ができる飼料用米など非主食用向け多収品種です。

品種の来歴

「北陸188号」を母、「岩南20号」を父として人工交配を行い、以後選抜・固定を図り、育成されました。

主な特徴

- 1 「あきたこまち」並の“中生の早”。
- 2 耐倒伏性は「あきたこまち」並の“中”。
- 3 葉いもち圃場抵抗性は“強”。
- 4 障害型耐冷性は、飼料稲品種「べこごのみ」より強い“強”。
- 5 「いわてっこ」や「べこごのみ」より多収で、栽培方法によっては750kg/10a以上の粗玄米収量を得ることができます。

表 特性の一覧(軽米町、2007年)

品種名	つぶみのり	いわてっこ	べこごのみ
早晚性	中生の早	早生の晩	早生の早
草型	中間型	偏穂数型	穂重型
出穂期(月日)	8月10日	8月10日	8月5日
成熟期(月日)	9月30日	9月25日	9月18日
稈長(cm)	86.2	80.8	75.6
穂長(cm)	17.0	18.2	17.8
穂数(本/m ²)	533	673	393
耐倒伏性	中	中	強
障害型耐冷性	強	極強	やや弱
いもち病抵抗性			
推定真性遺伝子型	<i>Pia, Pib</i>	+	<i>Pib, Pik</i>
葉いもち	強	中	強
穂いもち	調査中	強	中
玄米千粒重(g)	20.8	20.3	19.1

【2 効果】

耐冷性に優れているため岩手県の気象条件に適しており、県中北部で飼料用米など非主食用米の安定生産ができます。

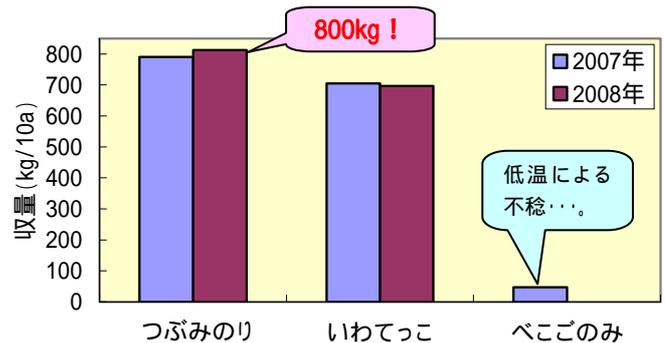


図. 粗玄米収量の比較(軽米町)
2007年は基肥8kg+幼形期2kg+穂揃期2kg/10a(窒素成分)。
2008年は基肥6kg+幼形期2kg/10a(窒素成分)。

【3 留意事項】

- 1 飼料用米など非主食用として栽培して下さい。
また、一般主食用品種への混入に注意して下さい。
- 2 いもち病真性抵抗性は“*Pia, Pib*”、葉いもち圃場抵抗性は“強”ですが、穂いもち圃場抵抗性は調査中のため基本防除に努めて下さい。
- 3 倒伏防止のため、極端な多肥栽培を避け、十分な中干しを実施して下さい。
- 4 研究レポートNo.471『飼料用米に利用できる「つぶゆたか」(岩南29号)および「つぶみのり」(岩手85号)の施肥法』をあわせてご覧下さい。

【4 適応対象】

- 1 栽培適地 「あきたこまち」「いわてっこ」作付け地帯
- 2 対象者 飼料用米など非主食用米の生産者

